

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2005-520543(P2005-520543A)

【公表日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-578538(P2003-578538)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
C 1 2 M	1/00	(2006.01)
C 1 2 M	1/34	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 Q	1/02	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	16/18	
C 1 2 M	1/00	A
C 1 2 M	1/34	Z
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 Q	1/02	
C 1 2 Q	1/68	A
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	37/00	1 0 2
C 1 2 N	5/00	A
C 1 2 N	15/00	F
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月16日(2006.3.16)

**【手続補正1】**

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

**【請求項1】**

患者において癌を診断するための組成物であって、患者のサンプルにおけるCA遺伝子の差次の発現の存在を検出するための手段を含み、該CA遺伝子は、SNL、FOSB、CCND1、MYC、NFKB1、およびPVT1からなる群より選択され、該サンプルにおける該CA遺伝子の差次の発現の存在が、癌を有する患者を示す、組成物。

**【請求項2】**

癌を診断するための組成物であって、以下：

(a) 第一のサンプルにおけるCA遺伝子の発現のレベルであって、ここで、該CA遺伝子はSNL、FOSB、CCND1、MYC、NFKB1、およびPVT1からなる群より選択され、そして該第一のサンプルは第一の個体の第一の組織型を含む、レベル；ならびに

(1) 第二のサンプルにおけるCA遺伝子発現のレベルであって、ここで該第二のサンプルは該第一の個体の正常組織型を含む、レベル；または

(2) 第三のサンプルにおけるCA遺伝子発現のレベルであって、ここで該第三のサンプルは罹患していない個体由來の正常組織型を含む、レベル

を測定するための手段を含み、ここで、(a)におけるCA遺伝子発現のレベルと該第二のサンプルもしくは該第三のサンプルにおけるCA遺伝子発現のレベルとの間での少なくとも約50%の差異が、該第一の個体が癌を有するか、または癌を患易いことを示す、組成物。

**【請求項3】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記検出のための手段がmRNAレベルを測定するための手段を含む、組成物。

**【請求項4】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記検出のための手段がCAタンパク質(CAP)レベルを測定するための手段を含み、該CAタンパク質が配列番号6、12、18、24、30および33からなる群より選択される配列を有する、組成物。

**【請求項5】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記CA遺伝子が、配列番号5、11、17、23、29および32からなる群より選択される少なくとも1つの核酸配列を含む、組成物。

**【請求項6】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記癌が、結腸癌、肺癌、膵臓癌、卵巣癌、胃癌、乳癌または前立腺癌である、組成物。

**【請求項7】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記遺伝子が、SNL1であり、そして前記癌が乳癌である、組成物。

**【請求項8】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記遺伝子が、FOSBであり、そして前記癌が乳癌、結腸癌、肺癌、膵臓癌、卵巣癌、胃癌、または前立腺癌である、組成物。

**【請求項9】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記遺伝子が、MYCであり、そして前記癌が乳癌である、組成物。

**【請求項10】**

請求項1または2に記載の組成物であって、前記遺伝子が、CCND1であり、そして前

記癌が乳癌、結腸癌、肺癌、脾臓癌、卵巣癌、胃癌、または前立腺癌である、組成物。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 に記載の組成物であって、前記結腸癌が、S状結腸癌または横行結腸癌である、組成物。

【請求項 1 2】

請求項 1 または 2 に記載の組成物であって、前記遺伝子が、NFKB1 であり、そして前記癌が、肺癌、皮膚癌または乳癌である、組成物。

【請求項 1 3】

請求項 1 または 2 に記載の組成物であって、前記遺伝子が、PVT1 であり、そして前記癌が乳癌である、組成物。

【請求項 1 4】

癌を処置するための組成物であって、CAP のインヒビターを含み、該 CAP は CA 遺伝子をコードし、該 CA 遺伝子は、SNL、FOSB、CCND1、MYC、NFKB1、および PVT1 からなる群より選択される、組成物。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載の癌を処置するための組成物であって、前記 CA タンパク質 (CAP) のインヒビターが CA タンパク質に結合する、組成物。

【請求項 1 6】

請求項 1 4 に記載の癌を処置するための組成物であって、前記 CA タンパク質 (CAP) のインヒビターが、SNL、FOSB、CCND1、MYC、NFKB1、および PVT1 からなる群より選択される CAP 配列の活性を調節する、組成物。

【請求項 1 7】

抗癌活性について候補抗癌剤をスクリーニングする方法であって、以下：

(a) CA 遺伝子を発現する細胞と候補抗癌剤とを接触させる工程であって、該 CA 遺伝子は、SNL、FOSB、CCND1、MYC、NFKB1、および PVT1 からなる群より選択される、工程；ならびに

(b) 該候補抗癌剤の存在下での該細胞における CA 遺伝子発現のレベルと、該候補抗癌剤の非存在下での該細胞における CA 遺伝子発現のレベルとの間での、少なくとも約 50 % の差異を検出する工程であって、該該候補抗癌剤の存在下での該細胞における CA 遺伝子発現のレベルと、該候補抗癌剤の非存在下での該細胞における CA 遺伝子発現のレベルとの間での、少なくとも約 50 % の差異が、該候補抗癌剤が抗癌活性を有することを示す、工程

を包含する、方法。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載の方法であって、該候補抗癌剤の存在下での該細胞における CA 遺伝子発現のレベルと、該候補抗癌剤の非存在下での該細胞における CA 遺伝子発現のレベルとの間での、少なくとも 100 % の差異が、該候補抗癌剤が抗癌活性を有することを示す、方法。

【請求項 1 9】

請求項 1 7 に記載の方法であって、前記候補抗癌剤が抗体、小分子有機化合物、小分子無機化合物、またはポリヌクレオチドである、方法。

【請求項 2 0】

請求項 1 7 に記載の方法であって、前記候補抗癌剤がモノクローナル抗体である、方法。

【請求項 2 1】

請求項 1 7 に記載の方法であって、前記候補抗癌剤がヒト抗体またはヒト化抗体である、方法。

【請求項 2 2】

請求項 1 9 に記載の方法であって、前記ポリヌクレオチドがアンチセンスオリゴヌクレオチドである、方法。